

# 東近江市 橋梁の長寿命化修繕計画 2020

## 長寿命化修繕計画の背景と目的

長寿命化修繕計画策定は、橋梁を適切に管理するため、国土交通省が進める施策である。

### 制度の背景および目的

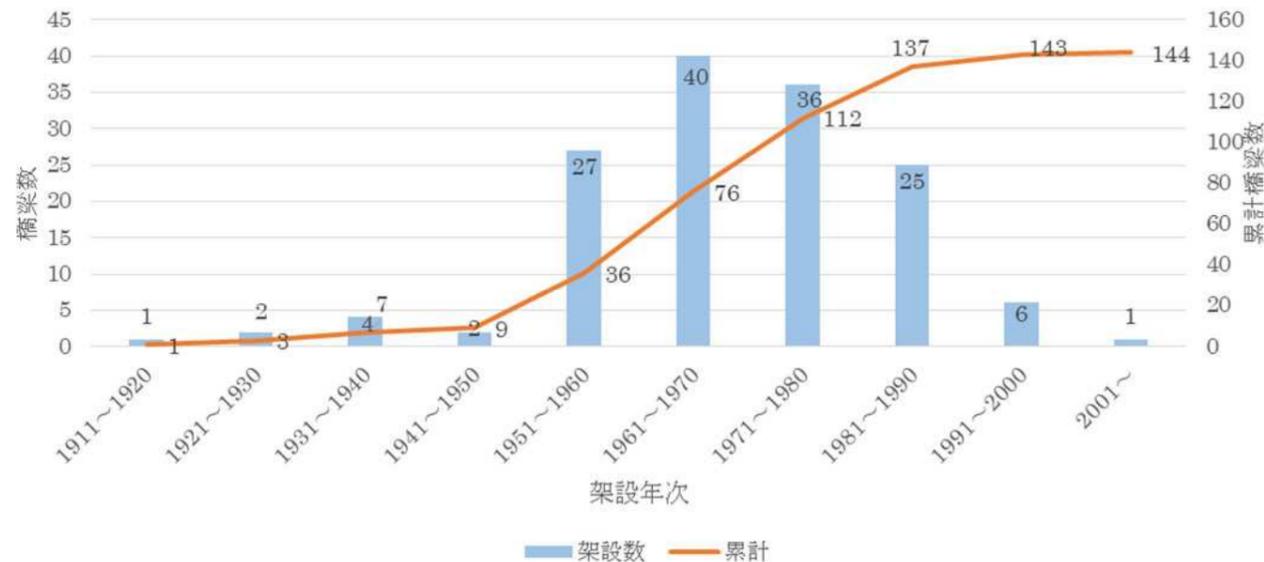
地方公共団体が管理する、今後老朽化する道路橋（以下「橋梁」という。）の増大に対応するため、地方公共団体が長寿命化修繕計画を策定することにより従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

（以上、国土交通省道路橋 HP「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度の創設」）

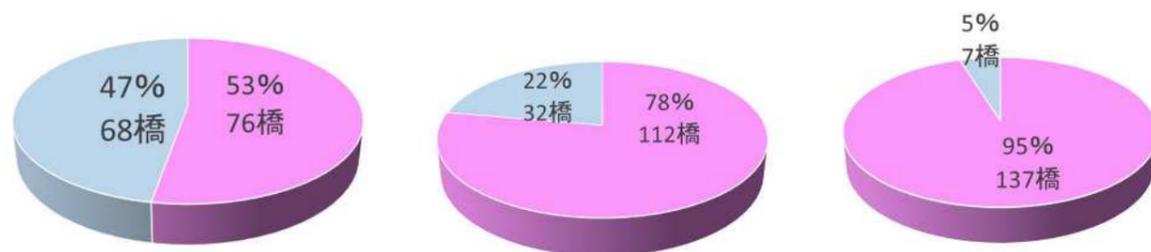
## 1、東近江市が管理する橋梁の現状

東近江市が管理する橋梁は、平成 31 年 5 月現在、659 橋である。うちⅡ判定以上の 155 橋について、予防的修繕による橋梁の長寿命化を重点的に取り組む方針とした。東近江市の橋梁は、1950 年代から 1980 年代にかけて集中して建設しており、これらは修繕計画を行う 155 橋のうち架設年が判明する 144 橋に対し、88%を占めている。

注) 155 橋の内訳（橋長 15m 以上：35 橋、橋長 15m 未満：120 橋）



架設年が判明している 144 橋において、高齢化橋梁（建設後 50 年以上経過した橋梁）が占める割合は、2019 年現在 53%（76 橋）であるが、10 年後には 78%（112 橋）、20 年後には 95%（137 橋）と増加する。



## 2、予防保全の基本方針

### (1) 健全度把握の基本方針

- ・橋梁定期点検を 5 年間隔で継続的に実施することで、重大な損傷を見逃さないようにする。
- ・定期結果は、橋梁データベースシステムに蓄積して、これを管理する。
- ・橋梁の健全度は、橋梁長寿命化の観点から 3 つの性能（耐荷性・災害抵抗性・走行安全性）のうち耐荷性を対象とした「総合評価指標」（国総研資料第 488 号）により算定する。

### (2) 日常的な維持管理に関する基本方針

- ・橋梁を良好な状態に保つため、日常的な管理として、パトロールや清掃などを実施する。

### (3) 対象橋梁の長寿命化及び補修・架替えに掛かるコストの縮減に関する基本方針

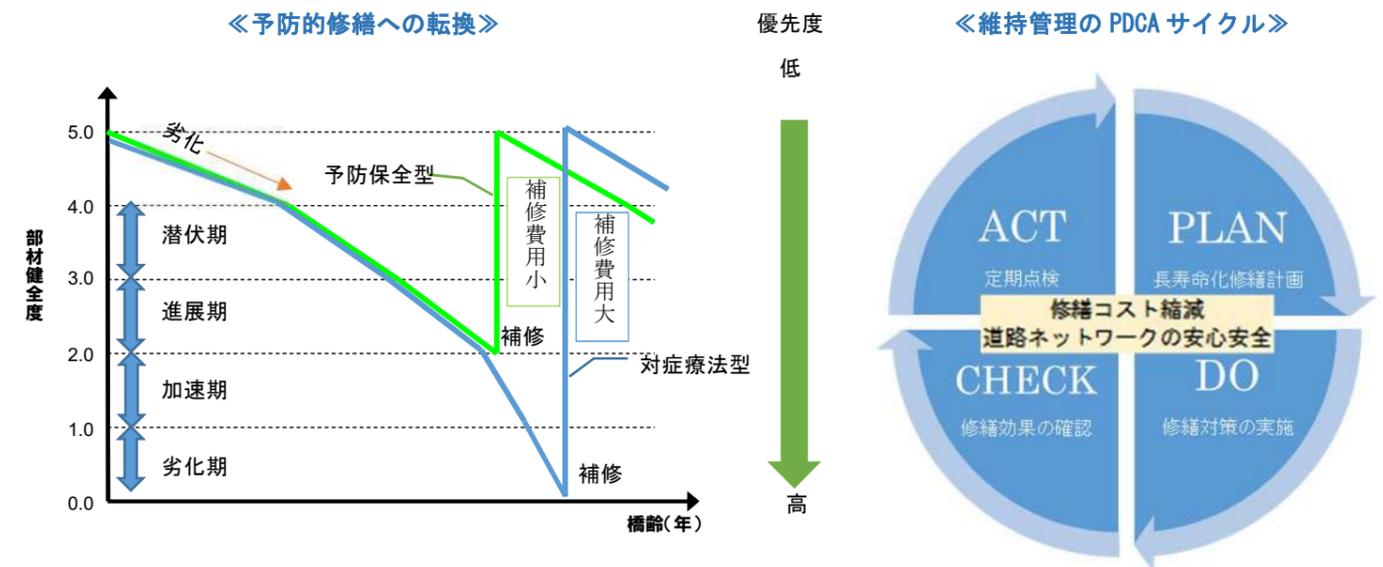
- ・従来の対症療法的な補修から予防的修繕への転換を図ることで、補修及び架替えに掛かる必要予算の平準化と維持管理コストの縮減を図る。
- ・長寿命化修繕計画は最新の点検結果に基づいて更新し、下図の PDCA サイクルにより橋梁の維持管理を継続する。

### (4) 新技術等の活用方針

- ・令和 7 年度までに、管理する橋梁において、約 1 割程度の橋梁で費用の削減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする。

### (5) 費用の縮減に関する方針

- ・令和 7 年度までに管理する橋梁において、新技術の活用を検討することで、従来工法と比較して約 1 割程度のコストを削減することを目標とする。



### 3、長寿命化修繕計画の効果

長寿命化修繕計画に取り組むことで、下記の効果を得る。

- ・橋の健全度の向上

継続的な定期点検を実施し、長寿命化修繕計画を進めることで、橋梁の安全性を確保するとともに、道路網の信頼性を確保する。

- ・予算の平準化

修繕に必要な費用を予測し、投資額を平準化した修繕計画とすることで、厳しい予算制約下で計画的な修繕を行う。

- ・意見を聴取した学識経験者等

近畿大学 理工学部 社会環境工学科 米田 昌弘 工学博士

